

平成29年10月10日
福島県立田村高等学校

弾道ミサイル飛来に伴う行動等について

北朝鮮による弾道ミサイル発射時について、下記の内容を確認し適切に対応してください。

記

1. 弾道ミサイルの特徴について
 - ・Jアラート第一報から5分もしないうちに日本に到達する可能性がある。
 - ・ミサイル着弾時には爆風や破片などによる被害が想定される。
2. 弾道ミサイル飛来等に関する緊急情報の発信について
 - ・全国瞬時警報システム（Jアラート）により、防災行政無線、緊急速報メール、市町村防災メール等が起動し情報が発信されるので、情報を確実に聞く。
3. 発生時の行動方法について
 - ・状況を判断し、自ら身の安全を確保できるように落ち着いて、直ちに行動する。
4. 避難の解除について
 - ・Jアラートによる情報伝達で、弾道ミサイルが日本の上空を通過した場合や日本の領域外の海域に落下した場合には、引き続き屋内に避難する必要はない。その場合、不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに近くの大人に連絡する。
5. 弾道ミサイル発射時の対応について
 - (1) ミサイル発射情報・避難の呼びかけがあった場合
 - 【在校時】
 - ①屋外にいる場合
 - ・姿勢を低くし頭部を守るようにして、速やかに教室等の屋内に避難する。
 - ・屋内に避難できない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。
 - ②屋内にいる場合
 - ・学校施設内のできるだけ窓のない空間に避難する。
 - ・窓がある部屋にいる場合、できるだけ窓から離れる。
 - 【登下校時】
 - ①屋外にいる場合
 - ・近くの建物（頑丈）や地下（地下施設）に避難する。
 - ・近くに適切な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。
 - ・不審な物を発見した場合には、決して近寄らないで、近くの大人に連絡する。

②自動車等の車内にいる場合

- ・ガソリンに引火のおそれがあるため、車を止めて建物（頑丈）や地下（地下施設）などに避難する。
- ・周囲に避難できる適当な建物がない場合は、車から離れて地面に伏せ頭部を守る。
- ・車外に出ると危険な場合やすぐに車外に出られない場合は、車内で姿勢を低くして頭部を守る。
- ・公共交通機関利用時は、運転手や係員の指示に従う。

【休日・夜間等】

①屋外にいる場合

- ・近くの建物（頑丈）や地下（地下施設）に避難する。
- ・近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。
- ・高速道路を通行している時など、車から出ると危険な場合には、車を安全な場所に止め車内で姿勢を低くして、行政からの指示があるまで待機すること。

②屋内にいる場合

- ・窓のない部屋に移動する。
- ・窓がある部屋にいる場合、できるだけ窓から離れる。

(2) ミサイルが日本の領土・領海に落下した場合

①屋外にいる場合

- ・口と鼻をハンカチ等で覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内又は風上へ避難する。
- ・不審な物を発見した場合には、決して近寄らないで、近くの大人に連絡する。

②屋内にいる場合

換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

6. その他

- できるだけ生徒の39メールへの登録をお願いします。39メールでは安否確認が可能です。
- 落下場所によっては不測の事態が想定されますので、万が一に備えた行動等を家族間で確実に確認しておいてください。
- ミサイルが日本の領土・領海に落下した場合、学校側から連絡するまで臨時休校とします。